

# 令和4年度 学力向上指導改善プラン

けやき台小学校長 福井 博行

学校教育目標		夢に向かって堂々と歩む子の育成 ～人となりがり 笑顔あふれる <b>心ばかばかな</b> けやきっ子～	
推進主体		管理職と主幹教諭、学年・教務主任による学校教育改革推進委員会を設置し、以下の改善プランを策定	
学力に関する前年度の課題・経年の課題			
学力の状況	これまでの全国学力・学習状況調査結果の状況(教科に関する質問紙調査の結果も含む)	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要や情報を見分ける設問」と「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する設問」に課題がみられる。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「図形・データの活用」に必要な条件を見つけ出して、筋道をたてて解答する力に課題がみられる。</li> <li>◆「変化と関係」速さと道のりをもとに、時間を求める式に表すことはできているが、速さを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がみられる。</li> </ul>
単元・学期末テストなどによる状況(各教科)		国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆算数科においては、基本的計算力が身につけている児童が多いが、文章題での活用や記述に課題のある児童もみられる。</li> <li>◆文章題から読み取ったことを適切な言葉で表現することや要約することが難しい児童がいる。</li> <li>◆国語のテスト以外では、漢字を活用できていない児童がいる。</li> <li>◆基本的な計算に時間のかかる児童や計算のケアレスミスのある児童が見られる。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文章を書く(ふりかえりの記述を含む)ことに時間のかかる児童がいる。</li> <li>◆発表時に必要な声の出し方・姿勢が身に付いていない児童がいる。</li> <li>◆入学時にひらがなの読める子・読めない子、数の概念が入っている子・入っていない子の差が大きい。</li> <li>◆最後まで話の聞けない児童がいる。</li> <li>◆線分図や関係図等が書けるが答えと図が一致しない児童がいる。</li> <li>◆家庭学習の定着が難しい児童がいる。</li> <li>◆学習に必要な持ち物が揃わない児童がいる。</li> </ul>
授業等からうかがえる状況(各教科)		国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の質問に対しては、「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童の割合が全国・兵庫県平均を上回っている。</li> <li>◆「あいさつ・そうじ・持ち物への記名」「履き物をそろえる」「廊下の右側を静かに歩く」「下駄箱の使い方」を重点的に継続指導する。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマに算数科の研究に取り組んでいる。</li> <li>◆よりよい授業づくりのための事前・事後研修を工夫する。</li> </ul>
慣・学力向上に係る生活習慣等の学習	学校評価などのアンケート調査やこれまでの全国学力・学習状況調査の質問紙の経年変化による児童の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「めざす児童像」を学校だよりや学級集会などで提示し、家庭での協力を求める。</li> <li>◆校内に「学校教育目標(けやきのA(エース)をめざせ! )」や「めざす児童像(人となりがり笑顔あふれる心ばかばかなけやきっ子)」の具体を示す合言葉「あかるくあいさつ」「あきらめず挑戦」「あつたかこば」「もくもくそうじ」「響き合う歌声」を掲示し、全校生が意識できるようにする。</li> <li>◆掃除が積極的にできるように、掃除用具の点検や指導の工夫をする。</li> <li>◆学校ピカピカ(美化)委員会の活動を支援する。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「めざす児童像」を学校だよりや学級集会などで提示し、家庭での協力を求める。</li> <li>◆校内に「学校教育目標(けやきのA(エース)をめざせ! )」や「めざす児童像(人となりがり笑顔あふれる心ばかばかなけやきっ子)」の具体を示す合言葉「あかるくあいさつ」「あきらめず挑戦」「あつたかこば」「もくもくそうじ」「響き合う歌声」を掲示し、全校生が意識できるようにする。</li> <li>◆掃除が積極的にできるように、掃除用具の点検や指導の工夫をする。</li> <li>◆学校ピカピカ(美化)委員会の活動を支援する。</li> </ul>
校内研究・研修の状況	校内研究の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマに算数科の研究に取り組んでいる。</li> <li>◆よりよい授業づくりのための事前・事後研修を工夫する。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、算数科授業研究・人権教育・特別支援教育・生徒指導・食物アレルギー対応などの研修を計画的に実施している。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーや学校支援ボランティアの協力を得て、学習の成果をあげている。今後も、より効果的な学習活動を工夫し、更なる人材の確保に努めたい。</li> <li>○令和元年度より、地域コーディネーターが決定し、コミュニティスクールとなっている。令和2年度より、地域コーディネーター2名に協力頂いている。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して継続的な保・幼・小・中・高の交流を計画的に実施している。</li> <li>○けやき台中学校区青少年健全育成連携連絡会を定期開催し、児童・生徒の情報交換や授業参観等を行っている。</li> </ul>
家庭・校種間連携	小・中における教科連携等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員・保護者)の「児童の実態」の項目や子どもアンケートの「自分から進んで明るくあいさつをしている・言葉使いに気をつけて、友だちと仲良くしている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)の「児童は、本に親しみ、自ら進んで読書し、読書を楽しんでいる」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートの「学校の勉強がわかる」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考力の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートの「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりを行い、思考力の育成をめざす</li> <li>◆授業研究を行い、全職員で授業力向上に努める</li> <li>◆1月に算数科研究発表会を実施する</li> <li>◆算数専科(5・6年)と担任が連携し、児童理解と指導を行う</li> <li>◆全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、授業改善を行う</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すこやかな体づくりをめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうしたりしている」の項目で運動・遊びができていのかを確認する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣の確立をめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で掃除ができていのかを確認する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保・幼・小・中・高の連携を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)の「保・幼・小・中連携体制を確立し、学びの連続性を踏まえた指導を行っている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員・保護者)の「児童の実態」の項目や子どもアンケートの「自分から進んで明るくあいさつをしている・言葉使いに気をつけて、友だちと仲良くしている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本に親しむ子の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月23日を「家族読書の日」とし、学校だよりや図書館だよりで家族読書の啓発を行う</li> <li>◆学校司書と連携し、学校図書館と学年文庫の運営を工夫する</li> <li>◆学校司書と図書ボランティア(かたつむり)による読み聞かせを継続する</li> <li>◆読書週間を設定する</li> <li>◆ブックフレンド(図書)委員会の活動を支援する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆朝の学習タイムを継続する(算数)</li> <li>◆各学年児童の実態を考慮した、学力向上に向けての取り組みを工夫する。</li> <li>◆放課後学習日や夏期休業期間等に学力保障(個別指導)を行う</li> <li>◆「がんばりタイム」を継続実施する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考力の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりを行い、思考力の育成をめざす</li> <li>◆授業研究を行い、全職員で授業力向上に努める</li> <li>◆1月に算数科研究発表会を実施する</li> <li>◆算数専科(5・6年)と担任が連携し、児童理解と指導を行う</li> <li>◆全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、授業改善を行う</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すこやかな体づくりをめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうしたりしている」の項目で運動・遊びができていのかを確認する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣の確立をめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で掃除ができていのかを確認する</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保・幼・小・中・高の連携を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)の「保・幼・小・中連携体制を確立し、学びの連続性を踏まえた指導を行っている」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>◆「3つの合言葉」「けやきのA(エース)をめざせ!」等を各教室の前面や児童玄関、給食室付近に掲示することや全校朝会で話題にすることで、児童が「めざす児童像」を意識して行動できるようになった。</li> <li>◆生活指導委員会から報告された「児童の様子について」の成果と課題は、全校朝会や学級指導等で伝達指導している。</li> <li>◆基本的な生活習慣の確立を図るため、学校だよりや保健だよりで保護者に啓発をしている。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校評価アンケート(職員)の「児童は、本に親しみ、自ら進んで読書し、読書を楽しんでいる」の項目は、9割以上の肯定評価を得た。これは、全校あがりの「家族読書の日」の取り組みに加え、「読書ウイーク」の設定、読書通帳の管理・活用等の新たな取り組みを行った成果である。</li> <li>◆「家族読書の日」「読書ウイーク」の取り組みについては、来年度も継続・実施していくようにする。</li> <li>◆学校司書と図書ボランティアさんによる読み聞かせ(1～3年)を継続・実施している。</li> <li>◆本に親しむ子を育成するために、「図書館だより」による啓発や本棚の配置・選書の工夫、蔵書の充実・書架の増設を行った。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆放課後学習日(毎月)を設定し、個別指導を実施している。(全学年)</li> <li>◆「ひょうごがんばりタイム」(計算に特化)を継続・実施している。(2～3年)</li> <li>◆個別指導の時間の確保や「朝の学習タイム」の内容の工夫により、子どもアンケート「学校の勉強がよくわかる」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>◆学力向上に向けて、学年ごとに児童の課題に応じた取り組みを行っている。</li> <li>◆週末や長期休業中にiPadを持ち帰り、ミライシード等のアプリを活用した家庭学習に取り組んだ。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考力の育成を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校評価アンケート(職員)の「研究」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>◆研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりをめざし、授業研究を計画的に実施した。</li> <li>◆1月に算数科研究発表会を実施。3月に研究の成果と課題を冊子にまとめ、職員で共通理解する場を設定する予定。</li> <li>◆デジタル教科書やミライシードを活用し、授業研究を行うことができた。</li> <li>◆年間を通して、算数専科教員と担任の打ち合わせ日を設定し、授業内容・進度等を確認するようにした。</li> <li>◆職員会議で全国学力・学習状況調査結果分析を共有し、授業改善のポイントを確認した。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すこやかな体づくりをめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校評価アンケート(児童)「運動したり、体を動かそうとしている」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>◆全学年、栄養教諭と連携し、食育を計画的に実施。児童は、食事の仕方や身体と栄養、環境問題等について学習できた。</li> <li>◆ランチ委員会が残食ゼロをめざした活動を行い、児童の食に関する意識が高まってきている。</li> <li>◆スポーツ委員会主催の大記録会に向けて、全クラスが休み時間に練習し、跳べる回数(記録)を伸ばすことができた。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣の確立をめざす</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校評価アンケート(職員・児童)の「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で、9割以上の肯定評価を得た。1学期に6年生が1年生と掃除を行うことや、学年に応じた清掃指導の工夫等の成果と捉えている。</li> <li>◆10月にけやき台幼稚園(年長)が1年生の音楽会練習を見学した。また、11月には、若草保育園(年長)が1年生の授業を参観した。年長園児にとって、小学校生活の様子を知る機会となった。</li> <li>◆11月にけやき台中学校生徒の「トライやる」の受け入れを行った。</li> <li>◆2月から関係保育所・幼稚園・中学校と児童についての「引き継ぎ会」を実施している。</li> <li>◆2月の入学説明会で、5年生と入学予定園児との交流を図った。</li> </ul>
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携を図る</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校評価アンケート(職員)の「開かれた学校づくりに努めている」の項目で100%の肯定評価を得た。これは、保護者に学校の様子をより分かりやすく伝えるためにHPを頻りに更新し、情報発信に努めた成果である。</li> <li>◆学校評価分析結果を学校だより臨時号(3月)にて保護者に配布し、教育活動の成果と課題を共有する予定。</li> <li>◆学校地域運営協議会を年3回実施し、「学校運営」「教育活動」等についての意見交流を行った。</li> <li>◆「3年環境体験」(6・11月)「5年家庭科ミニ」(6・11月)「1～6年音楽会器楽合奏練習」(10月)等の学習時に、学校支援学習ボランティアの協力を得て授業を実施することができた。また、1月に防災ボランティアとともに「阪神・淡路大震災追悼式」を実施した。</li> <li>◆「ボランティア通信」の発行し、「ボランティア交流会(年3回)」の実施した。</li> <li>◆2月に学校支援学習ボランティアと地域コーディネーターを招待して、感謝の気持ちを伝える「愛ありがとう集会」を実施。</li> </ul>